

# 感染症科

## a.体制

感染症科は、平成 21 年から感染制御対策室と同義であり、院内感染制御対策と感染症診療支援業務活動を行ってきたが、平成 28 年度の平成 29 年(2017 年)1 月より感染制御対策チーム(ICT)と感染症科(感染症診療支援)に分かれて業務を行っている。今年度の特徴としては、メンバーに初期研修医を含む全職位の医師が揃った。

### スタッフ

#### 医師:

羽田 敦子 小児科部長、感染症科兼務 部長  
上村 良 消化器外科・感染症科兼務 副部長  
丸毛 聡 呼吸器内科・感染症科兼務 副部長  
井上 大生 呼吸器内科・感染症科兼務 副部長  
白田 全弘 呼吸器内科・感染症科兼務 医員  
藤田 昌昭 リウマチ膠原病内科・感染症科兼務 医員  
山本 和代 血液内科・感染症科兼務 医員  
山下 大生 神経内科・感染症科兼務 レジデント  
森田 元 腎臓内科・感染症科兼務 レジデント(4 月まで)  
辻本 考平 リウマチ膠原病内科・感染症科兼務 非常勤  
内原 嘉仁 小児科 レジデント  
瀬野 陽平 初期研修医 SR2  
岩田 直也 初期研修医 SR2

#### 看護師(専従感染管理認定看護師):

高詰 江美 師長

#### 薬剤師:

高橋 有 薬剤部主任  
小林 和博  
上田 覚 薬剤部係長

#### 臨床検査技師:

宇野 将一 臨床検査技師部主任  
中塚 由香利 臨床検査技師部主任

#### 事務:

亀井 愛美 (感染制御対策室)

## b. 診療実績

### 1. 感染防止対策加算対象の院内感染症に関する取り組み

#### (1) 感染症治療介入

管理抗菌薬使用患者、血液培養陽性患者、重症感染症患者をリストアップし、毎週木曜日にカンファレンスを行い、患者の病状や抗菌薬の使用状況の確認、感染症治療の指導を行った(平成 30 年度 1884 件、平成 29 年度 2322 件、28 年度 2126 件、平成 27 年度 2289 件、平成 26 年度 2772 件)。

内訳:

リ膠	眼科	形外	血液	呼内	呼外	産婦	児外	耳鼻	小児
45	2	21	324	345	26	42	5	26	69

消外	消内	心外	循内	脳神外	脳神内	泌尿	腎内	整形	糖内
191	230	73	115	44	73	84	84	39	13

乳腺	皮膚	精神	その他	外来	計
22	11	0	0	0	1884

#### (2) 抗菌薬の適正使用の推進 (Antimicrobial Stewardship Team, AST 活動)

##### i. 抗 MRSA 抗菌薬・広域抗菌薬の使用状況の確認

抗 MRSA 抗菌薬については、TDM を通して使用状況を確認し、適正使用を推進した。TDM 症例でコントロールに難渋する症例や長期投与症例については、感染症カンファレンスの際に感染症科医師と検討し、診療支援を行った。

- (1) TDM 対象外の抗 MRSA 抗菌薬や広域抗菌薬について、また、使用方法に疑問があれば AST 担当薬剤師が相談に応じた。使用状況を確認し、各病棟での使用状況を病棟薬剤師が監視した。その際に解決できない症例については、抗菌薬ラウンドでの ICT による検討、感染症専門医への適宜相談等を行い、抗菌薬の適正使用を推進した。

##### 1. 広域抗菌薬長期投与者への介入

- (1) 2015 年 1 月より、カルバペネム系抗菌薬を 15 日以上継続投与中の患者を長期投与者としてリストアップし、切り替え提案や適正使用を促す等の介入を開始した(平成 30 年度 77 件、平成 29 年度 72 例、89 件、平成 28 年度 49 例、平成 27 年度 55 例)。毎週金曜日の環境ラウンドと併せて取り組んでおり、対象患者数は減少傾向にある。

##### 2. 職員研修

- (1) 2018 年 5 月 18 日 医師・看護職員に対し、ランチョン・レクチャー「2018 年度麻疹流行と対策～What are we up against?～」講師：SR 瀬野陽平医師
- (2) 2018 年 6 月 9 日 新入職医師研修「抗菌薬適正使用とは何か？北野病院 (AST・感染症科) が行う取り組みについて」講師：高橋有薬剤師
- (3) 2018 年 7 月 20 日 2018 年度 感染症科 AST 研修会「誤嚥性肺炎をスルバクタム・アンピシリン以外の抗菌薬でいかに治療するか」講師：呼吸器内科 白田 全弘 医師
- (4) 2018 年 10 月 20 日 SR 向け救急講義「抗菌薬の使い方」講師：小児科 羽田敦子医師

- (5) 2018年11月6日(院内向け研修会)血液培養勉強会「カテーテル関連血流感染症(CRBSI)診療について—成人編—」講師:血液内科 山本和代、「小児における血液培養の実際と課題レジュメ」講師:SR2 岩田直也
- (6) 2018年11月19日リンクナース向け研修会「抗菌薬の使い方」講師:高橋有薬剤師
- (7) 2019年3月29日研修医オリエンテーション「抗菌薬適正使用について 北野病院(AST・感染症科)の取り組み」講師:小林和博薬剤師

## 2. 感染症科業務

### ① 血液培養陽性患者アラート 月～金曜日

血液培養陽性患者に対して、適切な抗菌薬投与が開始され、中心静脈カテーテルの抜去や血液培養陰性化確認等感染管理上の適切な処置がなされているか確認し、場合によっては介入した。

H30(2018)年度 819件、H29(2017)年度 487件、H28(2016)年度 603件、H27(2015)年度 232件。

### ② 感染症診療対診+随時コンサルテーション

主に院内感染症に対する抗菌薬選択、投与期間等について、108件(2017年度 108件)の対診と随時コンサルテーションを受けた。

### ③ B型肝炎防止プロジェクト 月1回

前年度に引き続き、免疫抑制・化学療法により発症するB型肝炎再活性化防止対策として、対象診療科の医師宛に2018年度は4895(2017年度 5890)件の検査警告メールを配信した。随時質問を受けている。

対象:抗癌剤、免疫抑制剤、抗リウマチ剤、ステロイド(中等度以上長期にわたる症例)投与患者のうち、HBs抗原、HBc抗体、HBs抗体検査が未実施の患者

### ④ 入院中TBアラート 月1回

長期入院で結核発症リスクの高い患者を抽出し、担当医へレントゲン撮影および抗酸菌培養を勧告。

### ⑤ 梅毒アラート 月1回

梅毒検査陽性患者に対し、適切な検査と治療が行われているか確認し、必要に応じて指導した。届け出されていない場合には保健所に届けるよう勧告した。

### ⑥ 感染症専門医 取得指導

日本感染症学会認定感染症専門医取得のため、受験予定の医師3名(当院元リウマチ膠原病内科 辻本考平、元血液内科 安間恵子、元呼吸器内科 松本正孝)に対して、2018年度末までに症例検討と指導及び文書作成を行った。

## c. 研究実績—論文・学会発表のテーマ・発表者

### (1) 研究

1. 文部科学省科学研究費補助金事業:ワクチンによる糖尿病患者における水痘帯状疱疹ウイルス特異的免疫反応の検討(羽田 敦子、糖内:濱崎暁洋、本庶 祥子、河崎 祐貴子ら)
2. きたの研究奨励金:NICU入院MRSA保菌患者におけるPhage Open readingFrame Typing(POT法)を用いたMRSAの分子疫学解析(加藤健太郎、羽田敦子)
3. きたの研究奨励金:タゾバクタム/ピペラシリン、メロペネムおよびセフトリアキソンの排便回数に与える影響

の比較検討(感染症科 辻本 考平、羽田敦子)

4. 血液疾患症例における菌血症に関する研究 (京都大学 大学院医学研究科 研究科 臨床病態検査学 野口太郎、感染症科 中江吉希、羽田敦子)
5. 当院の ESBL 臨床分離株の検討(臨床検査部 宇野 将一、中塚 由香利、小児科 羽田 敦子)  
(下線 獲得資金研究)

## (2) 論文

原著

1. Yagita M, Hata S, Miyata H, Kakita H, Tsukamoto T, Muso E, Fujita M.  
Systemic Lupus Erythematosus Associated with Ovarian Cancer. Intern Med. 2019 Mar 1;58(5):731-735.
2. Fujita M, Davari P, Takada YK, Takada Y.  
Stromal cell-derived factor-1 (CXCL12) activates integrins by direct binding to an allosteric ligand-binding site (site 2) of integrins without CXCR4. Biochem J 2018;475:723-732.
3. Hata A, Ishioka T, Oishi K, Katayama T, Ohkubo T.  
Altered immunogenicity of 23-valent pneumococcal polysaccharide vaccine in elderly patients with diabetes who revealed lower responses to concomitant administration of BIKEN varicella zoster vaccine: Results of post hoc analysis of a randomized double-blind trial.  
J Diabetes Complications. 2018 Nov 22. pii: S1056-8727(18)30115-6. doi: 10.1016/j.jdiacomp.2018.11.003.
4. 伊藤由依、羽田敦子、吉岡孝和、片山俊郎、秦大資  
1歳未満のインフルエンザ児に対するペラムビルの臨床投与成績  
Clinical effectiveness of peramivir for less than 1-year-old children with influenza  
小児感染免疫 2019. 31: 2号 p95-102
5. 加藤健太郎、羽田敦子、吉岡孝和、秦大資  
肺炎球菌ワクチン接種後に非ワクチン関連血清型株による肺炎球菌菌血症を4回繰り返した小児例  
小児感染免疫 2019. 31: 2号 p137-142

総説

富山県小児科医会報

第64号 平成31年3月出版 No.64 2019 p4-7

学術:水痘と帯状疱疹の現状と今後の対策について

著者:公益財団法人田附興風会医学研究所 北野病院小児科 感染症科 羽田 敦子

## (4) 学会発表

- 中塚由香利、宇野将一、南奈月、小林賢治、土屋咲子、田畑宏道  
当院における2004年と2017年のESBL産生大腸菌の比較について  
第68回日本医学検査学会 2019年5月19日 (山口県・下関市)

- 上村良、内田洋一朗、伊藤聖頭、三木晶森、門野賢太郎、岡本共弘、堀口雅史、福田明輝、上田修吾、寺嶋宏明  
 当院における臍頭十二指腸切除術後合併症に対する術前減黄の影響の検討  
 第 31 回日本外科感染症学会 2018 年 11 月 28 日 (大阪)
- Atsuko Hata  
 Evaluation of cellular and humoral immunity of live BIKEN varicella-zoster vaccine in adults assessed by using an interferon- $\gamma$  enzyme-linked immunosorbent assay and immune adherence hemagglutination assay (IAHA).  
 21st ESCV Annual Meeting 23-36 Sept 2018 Athens, Greek
- 羽田敦子、吉岡孝和、秦大資  
 妊婦 GBS 増菌法スクリーニングによる新生児侵襲性 GBS 感染症への影響  
 第 92 回日本感染症学会総会・学術集会  
 平成 30 年 5 月 31 日 岡山県
- 羽田敦子、加藤健太郎、吉岡孝和、秦大資  
 妊婦 GBS スクリーニング法改変による新生児侵襲性 GBS 感染症への影響(全国調査)  
 第 50 回日本小児感染症学会学術集会  
 平成 30 年 11 月 10-12 日 福岡県
- 加藤健太郎、羽田敦子、秦大資  
 NICU 入院 MRSA 保菌患者における POT 法を用いた MRSA の分子疫学解析  
 第 50 回日本小児感染症学会学術集会  
 平成 30 年 11 月 10-12 日 福岡県
- 石嶺里枝、羽田敦子、秦大資  
 水痘罹患後に MSSA 菌血症と左大腿部の化膿性筋炎・骨髄炎を発症した一乳児例  
 第 50 回日本小児感染症学会学術集会  
 平成 30 年 11 月 10-12 日 福岡県
- 羽田敦子、加藤健太郎、秦大資  
 妊婦 GBS スクリーニング法による新生児侵襲性 GBS 感染症への影響～全国調査  
 第 61 回中日本感染症学会総会・学術集会  
 平成 30 年 11 月 16-18 日 鹿児島県
- 内原嘉仁、秦大資、羽田敦子  
 メトトレキサート内服を契機にリステリア髄膜炎をきたした 59 歳女性の 1 例  
 日本感染症学会中日本地方会学術集会  
 平成 30 年 11 月 16-18 日 鹿児島県
- 羽田敦子  
 水痘帯状疱疹ワクチン同時接種による 23 価肺炎球菌荚膜多糖体ワクチンへの影響～高齢糖尿病患者におけるプラセボ対照無作為化二重盲検試験事後解析  
 第 22 回日本ワクチン学会  
 平成 30 年 12 月 8-9 日 兵庫県

(5) 院外活動

講演

1. 羽田敦子  
帯状疱疹予防ワクチンについての最新のトピックス  
薬物療法研究会 福岡市薬剤師会  
平成 30 年 4 月 17 日 福岡県
2. 羽田敦子  
帯状疱疹予防のための水痘ワクチン  
Takeda Web seminar  
平成 30 年 7 月 12 日 大阪府
3. 羽田敦子  
成人用肺炎球菌ワクチンに水痘帯状疱疹ワクチンを同時接種しても大丈夫？～糖尿病患者における影響  
第 88 回研究所セミナー 於：北野病院 きたのホール  
平成 30 年 9 月 19 日 大阪府
4. 羽田敦子  
水痘と帯状疱疹の現状と今後の対策について  
富山県小児科医会 学術講演会  
平成 30 年 10 月 28 日 富山県
5. 上田 覚  
抗菌化学療法の基礎と薬剤師の関わり  
舞鶴地区 第 42 回 学術講演会  
平成 31 年 1 月 30 日 京都

ICD 認定更新用講習・教育企画、外部講師招聘

第 16 回北大阪感染症研究会 2017 年 1 月 29 日

～性感染症のトピックス

一般演題 座長： 北野病院 血液内科 主任部長 有馬靖佳 先生

一般演題 1 『ウイルス性肝炎診療最前線』北野病院 消化器内科部長 福永豊和 先生

一般演題 2 『当科で経験した悪性梅毒の 1 例』北野病院 皮膚科 山上優奈 先生

特別講演

座長：北野病院 感染症科・小児科部長 羽田 敦子 先生

『プライマリケアの現場における梅毒診療』

演者：神戸大学微生物感染症学講座感染治療学分野 准教授 大路 剛先生